

「希望五郷いわて」

農業・農村の復興に向けて

■岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課

平成23年3月11日午後2時46分、国内観測史上最大級のM9.0の地震とそれに伴う津波により、本県の農地・農業用施設は甚大な被害を受けました。これらの早期復旧と営農再開に向け、沿岸市町村の被害調査を支援した農地・農業用施設災害復旧支援隊（NSS）の活動をご紹介します。



ガレキで埋まる農地

県内市町村
人命救助や被災者支援が最優先



農地・農業用施設災害復旧支援隊 (NSS)

農村災害復旧専門技術者
〔岩手県土地改良設計協会の技術者〕
県職員等のOB

岩手県農林水産部農村整備関係職員

岩手県土地改良事業団体連合会職員

様々な事情により、市町村が被害調査をできない場合に、要請を受けてNSSが調査を実施

1 「農地・農業用施設災害復旧支援隊 (NSS)」発進!!

4月4～13日
14班体制(4人/班)にて、現地調査開始
4月26～28日、
5月15～17日
6班体制(2・3人/班)にて、農地の浸水区域や、かんがい施設の状態を調査

4月1日
NSS結団式
調査開始、
行程等打合せ

3月11日
地震発生
沿岸12市町村のうち、8市町村から災害支援要請

野田村
岩泉町
宮古市
山田町
大槌町
釜石市
大船渡市
陸前高田市

各班にて調査

NSS結団式

2 NNSの被害調査概要

地震による被災箇所の特定と記録

津波による農地の浸水区域の特定と記録

GPS搭載カメラによる撮影と位置情報の記録

水土里情報システムへの反映

「水土里情報システム」

(管理・運営：岩手県土地改良事業団体連合会)

航空写真や公図、水路等の施設などの地図情報に所有者や地目、面積、作物等の農地に関する情報を組み合わせて使うことができるシステムです。様々な情報をパソコン上で瞬時に表示でき、また、目的に応じた着色図面等を簡単に作成できます。



撮影した場所の位置情報も記録可能なデジタルカメラ

3 「水土里情報システム」の活用

山田町 織笠地区



農地浸水状況



ガレキ厚の計測



4 災害復旧に向けて

NNSの調査結果に基づいた、市町村からの被害報告により、国に対し災害復旧事業の申請を行います(通常は市町村が事業主体となりますが、被害が甚大で対応が困難な市町村については県が事業主体となります)。

申請に対して農林水産省と財務省による「災害査定」が現地で行われ、復旧に向けた工法や事業費が決定されます。

災害査定は11月末まで県内19市町村で実施され、査定が終了した地区から順次、地元との調整を図り復旧工事に着手していくこととなります。

農地・農業用施設等被害状況

(平成23年6月16日17時時点)

被害施設	箇所数	被害額 (百万円)
農地	13,320	22,616
農業用施設	3,612	4,012
集落排水施設	41	1,012
農地海岸保全施設	10	26,800
合計	16,983	54,440

●このページに関するお問い合わせ
岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課
Tel 019-629-5674 / Fax 019-629-5679
E-mail AF0006@pref.iwate.jp